



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 小児科 長谷川 大輔

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 聖路加国際病院 小児科 長谷川 大輔

# 小児治療関連骨髄異形成症候群（MDS）/急性骨髄性白血病（AML）に対する造血細胞移植についての研究

## 1.研究の対象

日本造血細胞移植データセンターより提供されたデータセット（1990年1月から2017年12月の間に治療関連MDSまたはAMLに対して0-15歳で造血細胞移植を施行された症例）に登録されている方

## 2.研究の目的・方法

小児治療関連骨髄異形成症候群（MDS）/急性骨髄性白血病（AML）に対する造血細胞移植について、より安全かつ有効な移植方法等を提案することを目的に、日本造血細胞移植データセンターから提供を受けたデータから、患者さんの移植関連情報を抽出し、これら因子が予後に与える影響を検討します。

調査期間は当法人 研究機関の長による実施許可後～2026年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年9月24日を予定しております。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

患者さんの背景因子（性別・診断時および移植時年齢・病型・先行疾患など）、移植前処置・ドナー・GVHD 予防法等の移植手技に関連する情報、移植片対宿主病（GVHD）など移植後合併症の有無、生死など

- ・「既存試料・情報の提供のみを行う機関」  
日本造血細胞移植データセンター